# 末村ファミリー







アニメ ゲーム

**ヲタ家族 ☆** 娘 息子

(中3)

(中1) ゲーム

# 末村 建(すえむら たつる)

父・地域おこし協力隊 (令和2年4月~)

#### 【略歴】

- ・出生~高校まで広島で過ごす
- ・関東を目指し、身一つで箱根へ 温泉地で住み込みバイト
- ・新松戸でルームシェア 和食レストランで働く
- ・両親の面倒を見るために、広島へ戻る
- ・結婚を機に大阪市へ IT企業へ就職し13年働く
- ・地域おこし協力隊に採用され、秩父市へ
- ・退任後は、地元で就職をしようと計画中

アニメ関連のイベント は、関東が多いのです (東京ビックサイト、 幕張メッセ、埼玉スー パーアリーナetc)

秩父は、都内へのアクセス良好、 なによりアニメ「あの花\*」の聖 地だったのが決め手

\*『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』秩父を舞台にしたアニメ3部作の一つ

## Episode1: 比較的穏やかに決まった 秩父への移住

前々から家族で田舎ぐらしの話をしていたので、いざという時にはそれほど反対に合いませんでした。妻⇒山と川があればOK、娘(ちょうど中学に上がるタイミング)⇒東京に遊びに行きやすいところ。当時小4の息子が唯一、友達と会えなくなるので難色を示しましたが、オンラインで繋がれると説得しました。実際に、大阪の友達とオンラインゲームで今でも遊んでいて、案外問題なかったようです。



特撮の聖地でもある浦山ダムで 俳優のサインを見つけました

### Episode2: 移住相談はこうやって受けている

移住相談センターの職員として、ファミリー世帯の移住相談は「**タイミン グ**」と「**家族の反応**」を大切にするように話しています。ノリで決めてしまった感がある自分の移住ですが(秩父へ来たのは、協力隊の面接が2回目。移住前に家族では来る機会はなかった。)ちょうど娘が中学に上がるタイミングであり、息子の気持ちにも寄り添いつつ交渉しました。

仮にお子さんが移住に渋っている場合は、お試し居住住宅の利用をお勧めしています。滞在中は物件を探しつつ、近所を散策したり、通学路を確認したり、未就学児がいる場合は遊び場を探したり。たいていの子どもには、近くの川で遊んだり、夜は星が見える環境が新鮮に映るようです。秩父ではカブトムシを見かけることも珍しくありませんが、「幻の虫」を発見したように大喜び。こうして大満足して帰る(時には帰りたくないと駄々をこねる)ケースが多々あります。また、最近はうちの息子のようにオンラインで繋がれる便利な世の中。学校の同級生でも、意外と移住してきた家族がちらほらいます。



#### Episode3: 秋父に来て変わったこと

- 窓を開けると壁ではなく、山が広がっている のが気持ちいい
- 無駄遣いがなくなった(以前は、毎週のように洋服を買っていた。お店に行く機会が減ったのもあるけれど、ストレスフリーで衝動買いがなくなった)
- 平日の夜も出掛ける余裕ができた(妻と散歩やドライブに行く)
- 家族で山や川で遊ぶ機会が増えた(以前はイオンモールへ行くことが多かった)

下:野菜の無人販売(秩父の至 る所見られ、朝採れの新鮮な野 菜が買えます)



スーパーもファミレスも近くにあり、日常的な買い物や食事は今まで通り不便はない。本は新刊を集めている。しかし、買い物の量や頻度は減ってもちっとも困らないことに気付き、今までいかにモノが溢れていたかと思う。

今の楽しみは、毎日スーパーに無料の浄水を汲みに行くこと。 $3.8\ell$  を $2\sim3$  本、一人で抱えて帰ってくる。ご飯を炊くときやコーヒーを淹れるときに使うのだが、超軟水だから味が全然違う!

令和4年11月作成